

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第1回枚方市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和元年10月28日(月) 午後4時から午後5時30分まで
開 催 場 所	メセナひらかた 特別会議室
出 席 者	会 長：高見委員 委 員：伊原委員、谷委員、岩井委員、木村委員、齊藤委員、西邨委員、坂本委員、佐藤委員、村島委員、浜田委員、山口委員
欠 席 者	—
案 件 名	1. 審議会の運営について 2. 枚方市スポーツ推進計画の進行管理について 3. その他
提出された資料等の名	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">資料1</div> 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">資料2</div> 枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">資料3</div> スポーツ施策一覧 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">参考資料1</div> 枚方市スポーツ推進計画概要版 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">参考資料2</div> スポーツ基本法(抜粋) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">参考資料3</div> 枚方市スポーツ推進審議会条例 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">参考資料4</div> 枚方市情報公開条例(抜粋) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">参考資料5</div> 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">参考資料6</div> 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議は公開、会議録は全文筆記で作成の上、会議録の確定後に公開することに決定 ・ 枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書及び施策一覧について確認し、今後の方向性について共通認識を持った ・ 審議会メンバーが共通して、新年度の主なスポーツイベントについて事業内容を把握できるよう、事務局より情報提供することに決定
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 (事 務 局)	社会教育部 スポーツ振興課

審 議 内 容

(開会 午後4時)

【令和元年度 第1回枚方市スポーツ推進審議会】

開 会

(高見会長) 定刻となりましたので、ただ今より令和元年度 第1回枚方市スポーツ推進審議会を始めさせていただきます。それでは、最初に、開会にあたりまして、枚方市教育委員会 浄内俊仁社会教育部長よりご挨拶をいただきます。

2. 社会教育部長挨拶

(浄内部長) 只今、ご紹介いただきました社会教育部長の浄内でございます。どうぞよろしくお願いたします。本日は、令和元年度第1回枚方市スポーツ推進審議会に公私お忙しい中をご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素は本市のスポーツ行政の推進にあたりご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

皆様御承知の通り、現在ラグビーワールドカップが日本で開催されておまして、日本代表が活躍をしたということで、スポーツ全体が非常に盛り上がっているところかなと思っております。冒頭に3点ほどお知らせをさせていただきたいと思っております。

まず一点目ですが、本審議会の委員であります村島委員が代表をされておられる、また枚方市と連携協定を結んでおりますサッカーチームのFCティアモ枚方が、この10月12日から16日に鹿児島県で開催されました、全国社会人サッカー選手権大会で見事優勝されました。誠におめでとうございます。先日市長表敬にもご報告をいただいたところです。

また二点目ですが、来年4月1日には、大相撲の地方巡業といたしまして大相撲枚方場所が本市の総合体育館にて開催予定となっております。詳しくは広報の11月号でご覧いただければと思います。

それと三点目ですが、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されますが、枚方市においても聖火リレーを4月14日火曜日に実施することが決定しております。これにつきまして、本日出席の皆さんにもご協力をお願いするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

さて、本日の枚方市スポーツ推進審議会につきましては、昨年度平成30年度に本市所管部署にて実施された事業の進行管理につきまして、本計画を推進すべく委員の皆様にご審議いただきたくこととなっております。委員皆様からの忌憚のないご意見を頂戴しながら、進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。なお、本日当会場では工事を行っておりまして、騒音等があるかもしれません。ご了承いただきたいと思っております。私からは以上です。

3. 委員紹介及び事務局紹介

(高見会長) それでは、本日の審議会の出席委員と傍聴者についての報告とあわせまして、資料の確認を事務局よりお願いします。

〈委員・事務局紹介〉

(事務局) それでは、本日の出席委員をご報告いたします。12名中12名出席いただいております。枚方市スポーツ推進審議会条例第7条第2項に規定する「2分の1以上の出席」を満たしているため、この審議会の会議が成立していることをご報告いたします。

〈資料確認〉

4. 審議会の運営について

(高見会長) それでは、次第4「審議の運営について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) まず、会議の公開及び傍聴に関する取り扱いについてご説明させていただきます。

参考資料3「枚方市スポーツ推進審議会条例」の裏面をご覧ください。

第8条第1項において、審議会の会議は「公開」と規定されています。ただし、第8条第1項第1号及

び第2号に該当する場合は非公開とすることが出来るとありますが、本会議については該当する項目がありませんので、公開することとなります。なお、第1号に記載されております、「枚方市情報公開条例」第5条の規定につきましては、参考資料4で条文を抜粋して掲載しておりますのでご確認ください。また、参考資料3の「枚方市スポーツ推進審議会条例」の第8条第2項で、「会議録を作成しなければならない」となっておりますが、その記載方法につきましては参考資料5「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」第6条4項のとおり、審議の内容が分かるように、発言内容を明確にして記載されるものとされております。そのため、委員の皆さんの発言内容につきまして全文筆記という形で考えております。

次に、同規定参考資料5の4ページ をご覧下さい。第7条の3におきまして、会議録については、会議録の確定後速やかに一般の閲覧に供するものとされております。次に会議の公開に当たり、傍聴手続等を定める必要がございます。2ページの第4条第3項には「審議会は、その会議の公開に当たっては、当該会議が公正かつ円滑に行われるよう、傍聴に係る手続その他必要な事項を決定する」とあります。恐れ入りますが、参考資料6をご覧ください。「枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領」を提案させていただきます。この要領につきましては、本市に定めます審議会の標準的な様式の要件を満たしているものになります。以上、会議の公開・傍聴に関する取り扱い等についてご審議をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(高見会長) それでは、事務局から本審議会の運営について説明がありましたが、委員の皆さん、この件について何かご意見等ございますか。

(高見会長) 特にないようですので、本審議会の会議を「公開」して、「会議録を全文筆記で公表」するものとさせていただきます。また、傍聴に関する手続についても、事務局提案のとおりとしますので、よろしくお願いいたします。それでは事務局、傍聴者の確認をお願いいたします。

(事務局) 傍聴者の方はおられません。

(高見会長) それでは引き続き進めてまいりたいと思います。それでは案件審議に入っていきたいと思っております。枚方市スポーツ推進計画は、一昨年の審議会で、各委員の専門的見地から活発なご意見をいただき、平成29年3月に策定されました。計画の初年度となる平成29年度からは、本計画で示す方針に基づいた事業をより実効性のある取組につなげるため、各事業の実績や今後の取組の方向性について、審議会で点検・評価することとしています。

本日は、本計画に基づいた事業の平成30年度実績に基づき、本計画の取組課題ごとに、事務局で整理いただいた事業評価と今後の方向性について、各委員から忌憚のないご意見を頂きたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

5. 枚方市スポーツ推進計画の進行管理について

(高見会長) それでは「枚方市スポーツ推進計画の進行管理について」事務局より説明をお願いします

(事務局) 委員の皆様には、お忙しいところ事前に資料をご確認いただき、ありがとうございます。

本日は、先程、高見会長からもありましたとおり、本計画の取組課題ごとに事務局からお示した「今後の方向性について」ご意見を出していただくようお願いいたします。

また、委員の皆様からのご意見を頂くにあたり、取組課題ごとに質疑の時間を取らせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

それでは、「枚方市スポーツ推進計画の進行管理について」説明いたします。資料2「枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書」をご覧ください。資料をめぐっていただき、1～2ページにかけて本資料の「趣旨」、枚方市スポーツ推進計画の「基本理念」、「目標指標」、「取組課題」、「課題解決に向けた施策の方向性と具体的施策一覧」がございました。

まず、「趣旨」につきましては、枚方市スポーツ推進計画（平成29年3月策定）で示した基本理念に基づき、各所管部門が展開している事業に対する評価と課題を、本計画の取組課題に沿って示しているものがございます。本計画の推進にあたっては、参考資料1としてお付けしております「スポーツ推進計画概要版」最終ページの進行管理、2つ目のひし形にありますとおり、「枚方市スポーツ推進審議会」

において事業に対する評価と今後の方向性について点検・評価を行い、助言を受けながら進行管理を行うこととしています。

続きまして、資料2の1ページに戻っていただいて「基本理念」につきましては、第5次総合計画の基本目標を踏まえ、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として設定しています。

次に、本計画における「目標指標」でございますが、国の目標指標である、成人の週1日以上スポーツ実施率が3人に2人を65%程度、週3日以上スポーツ実施率が3人に1人を30%程度としていることを踏まえ、本市の平成39年度末までの指標を表のとおり定めております。

次に、本計画の「取組課題」でございますが、4つ設定しており、

1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進
2. 子どものスポーツ活動の充実
3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実
4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

の4つを設定しています。

次に、資料2の2ページをご確認ください。

「課題解決に向けた施策の方向性と具体的施策一覧」につきましては、左から取組課題、次に取組課題に対する施策の方向、次に具体的施策をお示しております。

また、本計画の施策展開の考え方といたしまして、施策の方向を具体化する取組は、各所管部門において、すでに実施している既存事業を基本に、毎年度、各所管部門が必要に応じて、事業の見直しを行いながら、新たな課題に対しては取り組むべき事業を立案し、より効果的な施策展開を図っていくものと考えております。

次に、資料3「スポーツ施策一覧」をご確認ください。

表紙には、枚方市スポーツ推進計画の体系ごとに、取組課題、施策の方向、具体的施策（施策の基本目標）、平成30年度末施策数、内平成30年度新規施策数、めざす方向（評価）、令和元年度の取組方針をまとめています。

表紙以降につきましては、本市の担当課からの報告に基づき、各事業実績を事務局で取組課題ごとに整理し掲載しております。表紙に戻っていただいて、上の項目の中ほどにございます「平成30年度末施策数」につきましては、「具体的施策」に沿って実施されている平成30年度末の施策総数でございます。括弧内の数字につきましては、再掲されている施策数でございます。

次に、めざす方向（評価）の各項目につきまして、ご説明をいたします。

- ・「今後、拡充・拡大」は、平成30年度実績を踏まえ、内容を見直し、変更等を予定している施策
 - ・「現状にて推進」は、平成30年度と同様の仕様で継続実施を予定している施策
 - ・「完了・廃止・縮小」は、平成30年度に目的を達成したため終了した施策や縮小した事業で、今後実施しない方向性を示すものでございます。こちらの資料を基に、資料2の「枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書」にまとめたものでございます。資料3につきましては参考としてご覧ください
- それでは改めて、資料2の3ページ、をご覧ください。

平成30年度の実績、事業評価、今後拡充、拡大する施策今後の方向性について、取組課題1から順に説明させていただきます。

まず、「取組課題1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進」につきましては、各施設で日々実施されているスポーツ教室や、一日かけて行うスポーツイベントの施策が中心となっております。

【平成30年度取組実績】の件数につきましては、合計107件で再掲を含むもので内訳といたしまして、

■今後拡充・拡大 4件 ■現状にて推進 103件 ■完了・廃止・縮小 0件
となっております。

次に、事業評価につきましては、各課で実施している事業実績を事務局で取組課題ごとに整理したもの

でございます。今後の方向性につきましては、事業評価を踏まえ、事務局でお示ししているものでございます。主なものといたしまして

●総合福祉センターで実施している「市民講座」や「趣味の講座」では、参加者相互の交流を通じて心身の健康増進を図ることができた。

●保健センター等で実施している「健康講座」のお手軽ストレッチ・しっかりストレッチ・40歳からのロコモ体操・女性のためのぶよぶよ引き締め教室・体力測定会では、より多くの市民が参加しやすいようにストレッチ教室を2教室に増やした。

●毎年体育の日に市内各体育施設で実施している市民スポーツカーニバルは家族での参加も多く、ニュースポーツ体験コーナーや、スポーツ推進委員会考案のアウェースロー体験、バドミントン・卓球等の無料開放や新規で行ったAEDの体験などが好評で、前年より参加者数が約960人増加した。今後も参加者の増加を目指し、メニューの充実を図る。そのほか、掲載のとおりでございます。

【平成30年度末に「完了」、「廃止」、「縮小」した施策】につきましては、ございません。

【今後拡充、拡大する施策】につきましては、

●「総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催」

総合型地域スポーツクラブによる定期活動・スクール活動では、市民が目的に応じてスポーツを楽しみ、健康面や生活面でもよりよい効果が出ていることから、今後も内容を充実するとともにスクール数も拡大していく。

●「インストラクター・ボランティア基礎養成講座フォローアップ研修」

専門知識と指導力を持つ指導者や支援者を確保するため、枚方体育協会ではスポーツサポーターバンク事業を実施している。指導者や支援者を育成し、地域や企業のスポーツ活動の場に派遣することで多くの市民がスポーツの機会に触れることができるため、さらに事業を拡充・拡大していく。

●「枚方体育協会加盟団体等によるスポーツ教室の開催」

体育協会に加盟する団体のうち23団体の専門知識の高い指導者がスポーツ教室を実施することで、スポーツ・運動を楽しめる場を提供するとともに、市民の健康増進に寄与しスポーツ人口が増加するよう取り組みを進める。

●「各種スポーツ教室」

本事業では市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことが出来るとともに、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みを地域に広めることができている。参加者数も増加し好評であることからニーズの高さがうかがえ、今後も積極的にPRするとともに新たな教室の実施にも取り組む。

となっております。

事業評価を踏まえ、今後の方向性につきましては、

●参加者から好評の意見が多い、またリピーター及び参加者数が確保できている事業については継続

●夜間・休日のスポーツ教室の充実やスポーツ施設への保育機能の提供

●教室参加者等からの意見聴取の継続

●地域でのスポーツ・レクリエーション活動の充実及び市民相互の交流

●公益財団法人枚方体育協会のサポーターズバンク等、講師派遣に関する施策の活用促進

●市広報誌・ホームページ等を活用したスポーツ関連情報等の発信とするものです。

「取組課題1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進」につきましては以上でございます。

（高見会長） それでは、「取組課題1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進」この項目につきまして、ご意見・ご質問等はございますか。委員の皆様いかがでしょうか。

（高見会長） それでは私から。基本的に令和9年までにスポーツ実施率を65パーセントまで高めるという目標ですね。ということはいろんな事業の一覧、施策の一覧が出てきていますが、この実施率65パーセントまで持っていくことを念頭において、それぞれの部局が事業展開を考えられているのでしょうか。一つは廃止ということはないということなので、前向きに積み立てていこうという意識は見えるの

ただいて、そういうものを是非やってもらうという働きかけをしていかなければいけないと思っております。

(高見会長) 今のご意見はこの後のご説明の中にも大きく関わってくるんですね。ではこの後のご説明も受けて、その後皆さんのご意見を付け加えながら事務局でまとめていただきたいと思います。それでは引き続き事務局からご説明をお願いします。

(事務局) それでは、資料2「枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書」の4ページ、をご確認ください。「取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実」につきましては子どもがスポーツを楽しむための条件整備が中心となっています。平成30年度取組実績の件数につきましては合計38件で再掲を含むもので内訳といたしまして、

■今後拡充・拡大 3件 ■現状にて推進 35件 ■完了・廃止・縮小 0件となっています。

事業評価につきましては、主なものといたしまして、

●学校キャンプ支援事業では、市内小中学校による野外活動センターの利用促進を図るために、野外活動プログラムの提供や施設までの送迎バスなど交通手段の支援を行った。中学校の利用については前年度より大幅に増加したが、小学校については平成30年度の台風の影響で中止するなど、前年に比べて減少した。

●ライフ・チャレンジ・ザ・ウォークは、子どもたちが家族と一緒にウォーキングを楽しむイベントであり、平成30年度は前年度を超える参加者数であった。今後も引き続き気軽に楽しく健康づくりができる場の提供を継続していく。

●子どもから高齢者までが参加できる総合型地域スポーツクラブでは、定期活動11種目、スクール活動10種目に延べ37,436人が参加した。平成30年度については、地震や台風などの災害により一部会場の確保ができなかったことなどから、前年度に比べて減少となっている。

そのほか、掲載のとおりでございます。

5ページをご覧ください。

【平成30年度末に「完了」、「廃止」、「縮小」した施策】につきましては、ございません。

【今後拡充、拡大する施策】につきましては、

●「総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催」（再掲3つ）スクール活動では、近年実績を積み重ねてきたこともあり、市民が目的に応じてスポーツを楽しみ、健康面や生活面でもよりよい効果が出ている。子ども達にとっても基礎体力の向上や校区外の仲間作りが重要であるとの観点から、今後も気軽に参加できるスクールとして拡大していく。

●「枚方体育協会加盟団体等によるスポーツ教室の開催」（再掲3つ）

体育協会に加盟する団体のうち23団体の専門知識の高い指導者がスポーツ教室を実施することで、子どもたちにスポーツ・運動を楽しむことができる場を提供するとともに、スポーツに対する関心を持ってもらうことが大切である。各競技スポーツを体験できることでスポーツを実施する選択肢が増え、幅広いスポーツを子どもたちに提供できる事業として、より一層の取り組みを進める。

●「インストラクター・ボランティア基礎養成講座フォローアップ研修」（再掲1つ）

専門知識と指導力を持つ指導者や支援者を確保するため、枚方体育協会においてスポーツサポーターバンク事業を実施している。学校や幼稚園、保育所などにスポーツの基本を指導できる指導者や支援者を育成することで、子どもたちの発育段階での成長に資する指導、助言の充実を図ることが出来るため、今後も事業を拡充していく。

となっています。事業評価を踏まえ、今後の方向性につきましては、

●家族等でスポーツを楽しみながら体力づくりができるイベントの充実

●野外活動センターの学校利用の促進を継続

●各学校で作成している「体力向上推進計画」に基づき、体力向上に向けた取り組みを推進

●専門的な知識や技能を有する市内部活動指導協力者の適切な把握、派遣とするものです。

「取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実」につきましては以上でございます。

(高見会長) ありがとうございます。それでは、「取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実」につき

まして、ご意見・ご質問等はございますか。

(高見会長) これはお話を聞いていますと、枚方市の体育協会の役割がかなり大きくなっていると思いますが、この辺りはいかがでしょうか。

(西邨委員) たくさん体育協会の名前をあげていただいています、総合型地域スポーツクラブの定期活動のほかに、定期活動というのはほとんど個人の方が楽しみに来られていて、いろんな種目をいつでも参加できますよ、というスタンスでやっていますが、もう一つがスクール事業、これが専門的なことをやっています。まず、パナソニックパンサーズについてはバレーボールの小学生と中学生と個別に指導していただいております。それから陸上のスクールも専門の先生方に陸上の指導をしていただいております。チアの関西外国語大学のOGにお手伝いいただいてチアのスクールもしています。それらはかなりの成績をあげていまして、陸上につきましては毎年日産スタジアム、今は横浜国際競技場という名前に変わってラグビーの競技場になっていますが、元々陸上の競技場で、日産スタジアムの全国大会にここ数年枚方から出ていただいていますし、小学生は今ちょっと低迷していますが中学生のバレーボールにつきましても今年も全国大会に行きました。昨年は全国大会でも優勝するというのでかなり頑張っていたと思います。それから話に出てきましたインストラクター等につきましては、私どものほうで登録制にさせていただきまして、私はこういうのができますよとか、あるいは体育協会がそういう方を集めて講習をして資格を取っていただいて、各企業なり地域なり団体から、こういう指導をして現場に赴いてくださいと言っていたら、お代はいただいておりますが、その登録されている方から専門職を派遣する、こういう風なことをやっているというのがここに書いていることだと思います。また野外活動センターの学校の利用推進というのも一部ありまして、今年度は進入路の整備をしていただきました。徐々に整備はしていただけるものと思っていますので、今後増えることを期待しております。

(高見会長) ありがとうございます。このインストラクターのボランティア基礎養成講座というか、スポーツサポーターバンクというのはどれくらいの規模の方が登録されているかわかりますか。

(西邨委員) 講座は去年中止しているようですが、この部分につきましても木村先生からもご指導いただいて、講座の構成させていただいていると思います。登録ボランティアのインストラクターの登録人数というのは今ちょっと把握しておりません。誠に申し訳ありませんが。

(高見会長) いろんな自治体で、バンクというのをやられていますが、上手く機能しているというのを聞いたことがないので、枚方ですとどうなのかな、ということでお伺いしました。

もう一つ、岩井委員、スポーツ少年団という立場で今の子どもたちの枚方のスポーツ、子どもたちのスポーツの現状とかを肌で感じられることがございますか。

(岩井委員) スポーツ少年団としては、普通は中学生まではスポーツ少年団員としてお預かりしていますが、今は減りまして、小学生がほとんどです。今前におられる村島さんのFCティアモも優勝されたりして頑張っておられますので、うちはサッカーなどもFCティアモを目標に頑張っております。他のスポーツ、野球、バレー、空手等ありますが、子どもにしっかりやってもらわないことには、これから先高齢者になるにしても、ある程度基本ができていなければ、高齢者ですぐスポーツを、というわけにはいかないのです、我々としても底辺でしっかりと基礎を覚えてほしいというのが目標です。それにはやはりいろんな方の、今先生がおっしゃったように、インストラクターの方とか、ほとんど私たちボランティアですので、なかなか難しいです。そして練習する場所がなかなかないですね。これが一番のネックです。子どもが主体なので、会費をとって会場費に使うというのもなかなか難しいので、公共の場所をお借りするというのが一番となります。枚方市の場合は今のところスポーツ振興課から色々いただきまして、小学校を提供されたり、高校のグラウンドをお借りしたりしてやっていますが、なかなか普通、枚方市内の施設、運動広場、伊加賀スポーツセンターとかいろいろありますが、なかなかそこから押さえられないので、やろうと思っても難しいです。大会をやるにしても日数が決まらないです。グラウンドがおさえられない、施設がおさえられないということで。「ここは借りられないのか」というお話をいただきますが、なかなか私たちも簡単にはいきませんので、お金がいることですので、そういう面も考えてやっていただければ我々ももっと活発にできるかと思っていますので、今後ともよろしくお話ししたいと思っています。

(高見会長) ありがとうございます。他にご意見のある方は後でまた全体でご意見いただければと思います。それでは引き続き事務局ご説明をお願いします。

(事務局) それでは、資料2「枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書」の5ページ、をご覧ください。「取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実」につきましては、スポーツ推進委員を通じたニュースポーツに関する取組や、障害者を対象としたスポーツ教室、体育施設の維持管理に関する取組が中心となっています

平成30年度取組実績の件数につきましては合計46件で再掲を含むもので内訳といたしまして、
■今後拡充・拡大 0件 ■現状にて推進 46件 ■完了・廃止・縮小 0件となっています。
事業評価につきましては、主なものといたしまして、

●スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員により、日常から地域住民のスポーツにかかる指導、助言を行うことができている。また、スポーツ推進委員協議会で貸出ししているニュースポーツ用品や、校区におけるグラウンドゴルフイベント、夏祭りなどでのスポーツ備品の貸出しなどが年々増えており、生涯スポーツの普及振興に努めている。

●障害者が日常的にスポーツに親しむことができる事業として、市内スポーツ施設で実施されている障害者スポーツ講習会や車いすテニス教室などが実施されている。平成30年度について、車いすテニス教室の実施回数は台風など悪天候が影響し、前年度に比べ減少している。こうした教室は継続的な実施を希望する声が多く、今後も引き続き障害者がスポーツを行う機会の充実を図る。

●障害者のスポーツ大会への出場に係る移動手段としてリフト付福祉バスを利用した送迎の支援を毎年行っており、平成30年度についても年3回60人が利用された。毎年大会が開催されていることから送迎を希望される方が多く、障害者のスポーツの継続した支援ができている。

そのほか、掲載のとおりでございます。

平成30年度末に「完了」、「廃止」、「縮小」した施策】につきましては、ございません。

【今後拡充、拡大する施策】につきましても実績は、ございません、事業評価を踏まえ、今後の方向性につきましては、

- スポーツ推進委員による地域スポーツの充実とその活動支援のための備品等貸出し
- 指定管理施設を含め、各施設の特性に沿ったスポーツ事業の充実
- 障害者のスポーツ大会への参加支援を継続
- 学校運営に支障のない範囲で市民へ学校体育施設を開放

とするものです。「取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実」につきましては、以上でございます。

(高見会長) ありがとうございます。それでは取り組み課題3についてご意見・ご質問等はございますか。

(浜田委員) よろしいでしょうか。小中学校の学校施設の開放ということで、うちの校区はほぼ平日はだいたい6、7時から9時までには開放になっていて、土日昼間は7時までが開放になっていて、今のところ10団体くらい利用させていただいています。ただ学校施設が土日の7時以降が禁止になっているので、もうちょっと開放して欲しいというクラブの声もありますが、管理員の方の手当ても必要になることなのでね。45小学校区では土日夜は使っていないです。もっと開放して欲しいという声もあるので、また検討してほしいと思っております。

(高見会長) 枚方市は部活動のガイドラインというのはありますか。

(事務局) あります。昨年度の審議会の時にお示しさせていただきました。

(高見会長) 他にどうですか。中学校のガイドラインが出た後、学校施設の空きだとか、うまくその辺は空かないように各部が回しているのか、それとも一斉にお休みになっているのか、現状というのはどうですか。

(谷委員) クラブ活動の体育館や運動場の割り当ては、だいたい子ども達が過ごす時間、冬だったら5時まで、夏だったら6時までには学校のクラブ活動でほぼ使わせていただいている状態になっております。ただこれは中学校に限るので、小学校は日中使わせてもらったりされていると思います。もちろん

平日も夏場は6時まで、冬場は5時まで基本的に子どもたちが部活動で使わせてもらっていますので、一つの体育館に対してたくさんのクラブ活動が使っていますので、週に1回、2回お休みが入っていてもバスケット部が使うときにバレー部が休むとか、卓球部が来た時に別のクラブが休むとか、そういった入れ替わり制でやっていますので、子どもたちがいる時間に開放は難しいかなと思います。

(高見会長) そういうガイドラインができた後も、そういうような使われ方をしているということで、学校の施設開放を整備していかないとなかなか上手くいかないのかなという気がします。もう一つ、スポーツ推進委員の、例えばニュースポーツだとか、そういったものに対する取り組みを求められて活躍いただいています、現状とか課題を含めていかがでしょう齊藤委員。

(齊藤委員) スポーツ推進委員、ニュースポーツは協議会で考え、各委員に覚えていただいて、地域にもって帰っていただいて、地域でお披露目していただくということになっているのですが、なかなか全校区の委員が全て協議会に出てくるわけではないので、出てこられる方は必ず出てくる、出てこない方は何名かおられますので、その地域はニュースポーツを広めることはちょっと厳しいかなと思います。そこをカバーするのは3年前からブロック制をひいておりますので、ブロックでカバーしていただければということで皆に指導しております。小学校の学校体育施設ですが、平日の5時から9時は学校の権限でスポーツ推進委員は、ほとんどの学校で学校開放運営委員長として土日の8時から17時まではスポーツ推進委員、いわゆる学校開放運営委員会が振り分けて学校を使っています。

(高見会長) スポーツ推進委員は、地域スポーツを考えてくださっていて、スポーツ推進委員の力を必要とする場面も非常に多いのですが、今後スポーツ推進委員のあり方とか活躍の場をもう少し整理していく必要があるかなと感じました。もう一つ、パラリンピックを来年に控えて、東京では障害者の方のスポーツがかなり認知されてきているという情報を得ています。なかなか関西にはパラリンピックのレガシーを含めてあまり活発に動いていないんじゃないかというご指摘もありますが、この辺いかがでしょう佐藤委員。今の状況というか枚方の障害者のスポーツについては。

(佐藤委員) パラリンピックについてはあまり詳しく知らないのですが、参加できる条件というのがお金の問題とか、社会的条件など、例えば企業に雇われている人はオリンピックに出られる、そうでない人は練習さえもできない。もし記録が良くてオリンピック強化選手に選ばれたとしても、昔も友達がスキーで選ばれたんですけど、北海道で練習する際、そこで1週間合宿があって、そこにはガイドを連れて来い、そしてガイドの宿泊、交通費も負担せよということだった。当然、障害者で企業に参加している者は少なく、関西だけではないと思いますが、冬のオリンピック、シッティングスキーの人でも冬の練習だけでも300万円使ってしまう。一年で稼いだお金をつぎ込んで、泊まれないから行った車で寝て、そういう形でオリンピックに出ているというようなことを聞いています。パラリンピック以外で話してもいいですか。

(高見会長) はい。

(佐藤委員) 車いすテニスはこの部局が担当しているのですか。

(事務局) 車いすテニスは体育協会が行っています。

(佐藤委員) それ以外は僕の知っている範囲では障害福祉室で卓球とか、フライングディスクとか水泳もやっているとありますが、それで講習とかやっていると思いますが、結局障害福祉室以外ではやってもらえていない。そして目標に掲げたのが、大阪府スポーツ大会、春、秋に行われる全国スポーツ大会の予選を兼ねている大会の出場を目指すということを掲げていますが、陸上がその中で唯一講習会とか練習会とか行っていないのです。水泳、卓球、フライングディスクとかはありますが陸上はない。陸上は健常者ほどレベルが高くないのですが、その辺の陸上の面を考えてもらいたいです。障害福祉室に僕らが要望して今卓球やフライングディスクにかけているお金を陸上も一緒にやってくれとお願いするのがいいのか、ここでスポーツの部署や体育協会にお願いして、障害者の陸上の練習会などをしてもらうのがいいのか分からないので。もしかしたらここでできるのか、障害福祉室に僕らが要望してくのかその辺も聞きたいです。底辺のところではそういうのを広げていかない限りパラリンピックは難しいのではないかなと思っています。

(西邨委員) 報告も兼ねてですが、今陸上についてご発言があったと思いますが、体育協会が毎年やっ

ている新春走ろうかい、枚方ハーフマラソンにつきましては、まず他のマラソン大会ではないと思うんですけど、視覚障害者の部というのを作らせていただいて、佐藤さんにもいつも出ていただいて上位にも入賞されています。体育協会としては指導というか、練習まではいきませんが、そういった発表の場というか大会に参加していただける場所を作らせていただいています。それから11月10日、市とは別で実行委員会形式ですが、河川敷公園でノーマライゼーション、みんなでスポーツを楽しみましょう、ということで、河川公園の野球場をお借りしまして、ふれあいマラソンという、健全者の方も障害をお持ちの方も、みんなで一日、半日過ごしましょうということで、いろんなニュースポーツで、先ほどの推進委員の方もお見え頂きますし、ある団体から障害者向けのオリンピック、パラリンピックの正式競技でもありますポッチャの体験教室もさせていただいています。また別の団体なのでここでいうのもなんですが、来年度に小倉小学校で白杖、アイマスクを付けて子どもたちに体験をさせていただこうということと、その横で小学校3年生の全学年を対象に、これも体育館でポッチャの研修をしよう。その間に障害者に対する人権の教室をやるということ、これはちょっと市の部分とは違いますが、団体でそういう企画も枚方市でやっておりますので報告だけさせていただきます。

(高見会長) 村島委員でしょうか。

(村島委員) ティアモの試合の前にサッカースクールをやらせてもらっていますが、昨年障害をもった子どもたち、知的障害者の子どもたちのサッカー教室を去年やって、今年もサッカー教室をやらせてもらいましたが参加人数が少ないです。それはたぶん子どもが対象なので、やったことがない子もいますが、一人で来られないんです。枚方では枚方支援学校、毎年子ども小学校の子ども達が増えているということですが、その中でなぜかというと親が高齢化しているものですから、親も一緒に来るということが難しいのかなと。子どもたちは学校に行ってから児童デイサービスなど使って、親が働いている時にそういうところに行ってやっているんですが、そういう子どもたちに貸してあげたいのに、やる場所になかなか来られないとか、まあ一人でいける子は大丈夫ですけど、そういう部分ではやりたい環境があるのにできない子どもたちも多数いるのかなと思いますので、市とか僕たちがマンパワーを使ってできるかといえばそうでもないですし、民間のところと話してやるのがそこにもつながるのかなと思います。

(高見会長) 坂本委員どうぞ。

(坂本委員) 今私感じているのは、私の地域の公園にはいろんな看板があって、ほとんど公園の中で運動ができない。なぜかと言ったらその公園はフタ壁といって高速道路の上に広い公園を作ったのですが、土曜日曜ほとんど子どもがいなくて、そこにボールを投げてはいけないなど中止ばかりでね。聞くと陸運局などから公園ではしてはいけないなどと言われているようで。子どもが運動できない、友達もできない。その子ども達はどこで遊んでいるかという、狭い通路でボール投げをしたりして遊んでいる。広い公園に誰一人おらず、犬の散歩もできないような、大きな公園なのに規制がかかっているようで、なんかすると国土交通省がどうこう言ってだめなんです。それと、私今ソフトボールの代表で約30名の高齢者、平均73歳でやっていますが、枚方だけではなくて、交野のメンバーも友達が友達を呼んで今30名ほどでやっています。今日もやって来たところですけど、今一番困っているのは駐車場、料金が有料になるので、どこにいても駐車料金とられるので、週二回月曜と木曜にやっていますが、行くたびに駐車料金をとられては合わない、今村野のほうに行っていて、最初は王仁公園でやっていたんですけどね、なぜ老人を締め出すようなことを市はするのかと。どこに行っても駐車料金をとるような環境になっているから、これをもうちょっと料金をとらないようなシステムになってもらえないかなと。例えば老人会、他の団体もありますが、そういう団体の割引をするとか、安くするとかやってもらえたら。今村野でやっていますが、お金をとるようになったらまたどこへ行こうかなと。放浪の旅です。高齢者が健康のためにソフトボールというのはものすごく健康のために走って動いて怒鳴って悪口言って褒めたりけなしたりいろいろやっていますが、一番はけ口になっているみたいで、ほとんど30名近くいますけど、病気になってもまたすぐに戻ってきて活動できるというね、健康長寿というの一番、まあ他のスポーツもありますけど、郊外でできるスポーツは、ソフトボールは高齢者にとって私はいんじゃないかと思って頑張っていますけど、そういう駐車料金をなんとか

ませんかと思って、今日はちょっとぼやきですけど。

(高見会長) ありがとうございます。それぞれの皆さんの立場で、かなり具体的なところまでご指摘いただいていますけれども、一つ一つお答えいただくには時間がないかなと思うので、後でまた事務局でまとめてその辺のところを。今事務局何かお答えありますか。

(事務局) 事務局からですが、駐車場有料化につきましては、障害者手帳をお持ちの方にはスポーツ施設におきましては無料とさせていただきます。それから佐藤委員からいただきました陸上に関するのですが、障害者の方、陸上競技場のトラックを個人で使われている方はいらっしゃるんですね。ただ練習会ということでしたら障害福祉室と一緒にまたお話を聞かせていただくという形をさせていただいてもいいのかなと思っております。陸上に関しましては、報告も兼ねてなんですけど、昨年度、子ども夢基金活用事業で、ノーマライゼーション陸上競技チャレンジということで、オリンピックメダリストの朝原さんと、それからパラリンピックの体験ということでパラリンピックメダリストの佐藤圭太さんをお呼びしまして、そして佐藤委員にもご協力いただきまして、子ども達がパラリンピックの競技である陸上、義足をつけて走ったりとか、車いす競技を体験いただいたりとか、すごく子ども達に喜んでいただいて、もっとしたかったのに、というくらいしていただきまして、障害者と共に一緒にスポーツをすると。昨年度は車いすバスケットを体験いただいたりとか、今年度は卓球、バレーというものを体験いただいたりもしております。こういう風な形でもって子ども達もいろんな障害者と共にスポーツをする、それから障害福祉室の事業と兼ねて、指定管理者で毎月定期的にスクエア事業、障害者の方と健全者も一緒にスポーツできる場というのを提供させていただいております。またもし佐藤委員からもう一回陸上についてお話を聞かせていただいたらいいかな、と考えております。よろしく願いいたします。

(高見会長) それではまた後ほど全体的なご意見を伺いますので、次に移りたいと思います。それでは引き続き事務局からよろしく申し上げます。

(事務局) それでは、資料2「枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書」の6ページ、をご覧ください。「取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化」につきましては、各種競技大会やトップアスリート等と連携したスポーツイベントが中心となっています。

【平成30年度取組実績】の件数につきましては

合計28件で再掲を含むもので内訳といたしまして、■今後拡充・拡大 3件 ■現状にて推進 25件 ■完了・廃止・縮小 0件となっています。

事業評価につきましては、主なものといたしまして、

●総合体育大会を運営することで、市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促している。また大阪府や北河内に選手を派遣することで本市の高い競技力を有する選手の育成をめざし、競技スポーツの強化を図ることができている。平成30年度については、地震や台風などの災害により、枚方市や北河内大会等の会場が使用できなかったため実施件数が減少している。

●地元サッカーチームのFCティアモ枚方と連携協定を結び、枚方市立陸上競技場でのサッカー競技及びサッカー教室を通じた市民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図ることができている。平成30年度については荒天中止のため実施回数が昨年度に比べ減少している。

●トップアスリートとの交流は、枚方市子ども夢基金を活用した取り組みにより、多くの子どもたちがトップアスリートと触れ合える機会を得ることができ、スポーツを実践していくきっかけ作りとなっている。平成30年度は、レスリング金メダリストの「吉田沙保里さんトークショー」をメセナひらかたホールにおいて実施し、多くの市民が参加できた。また「ノーマライゼーション陸上競技チャレンジ」では、義足や車椅子、アイマスク着用での立ち幅跳びなどを体験し、障害者のスポーツに触れる機会を提供することができた。そのほか、掲載のとおりでございます。

平成30年度末に「完了」、「廃止」、「縮小」した施策につきましては、ございません。

今後拡充、拡大する施策につきましては、

●「インストラクター・ボランティア基礎養成講座フォローアップ研修」(再掲4つ) スポーツ指導やスポーツボランティアを行ううえで知っておきたい基礎知識(コーチング論やスポーツ栄養学、スポーツ理論など)を提供し、新しい指導者の育成と既存指導者に対するスキルアップを目指すことで本市ス

ももう少し変わってくるのではないかと、これは相当高い目標数値だと思いますので、ちょっとこのままではかなりハードルが高いのではないかと考えています。ですので、今スポーツをされている方ではなく、新規に観るスポーツからもするスポーツへ移行される方、新規のスポーツ実施者が増えていかなければならないかなと思います。あとは民間のスポーツ団体さんやスポーツクラブもあると思うんですけど、それを行政が潰していかないように、行政がいろいろやっていると、安い設定でされてしまったら、民間は潰れてしまうと思いますので、行政だからできる取り組み、民間の団体さんを支えるような仕組みっていうのも必要ではないかなと思います。以上です。

(高見会長) スポーツって多様化してきているので、西邨委員からご指摘いただきましたように、自分がただ体を動かすだけがスポーツの楽しみ方ではないので、いろんな多方面のそういう指標を作り出すのも必要かなと思います。それが一番健全なスポーツの考え方ではないかなと思うので、この国があげている65パーセント、これをどう捉えるかというのは非常に難しいというか、しっかり考えて、あまり65パーセントにとらわれすぎると、とんでもない数字を出すためにとんでもない考え方が出てきたりしてしまうので、その辺のところ今後枚方市では考えていかななくてはいけないのかなと思っています。いいご指摘ありがとうございました。

6. その他

(高見会長) 最後その他になりますけれども、事務局から何かございますか。

(事務局) その他につきましては、特にございません。

(高見会長) 市民代表として山口委員、何か市民感覚として、お話の中で何かご意見やご指摘いただけたらありがたいのですが。

(山口委員) 自己紹介も入るのですが、私は枚方の牧野スポーツクラブで水泳のインストラクターをしております。また女性専用フィットネスというところでも、トレーナーとして栄養指導ですとか、個別の運動も指導しております。リハビリ型デイサービスでもリハビリトレーナーとしてご高齢の方、介護認定を受けた方に対する運動を指導しております。私生活では子どもが三人おまして、長男が今21歳で、妊娠7か月の時に早産で生まれまして、脳性麻痺の肢体不自由児で、現在車いすで生活しております。次男は陸上を子どもの頃からしております。大阪の強豪校といわれる大阪高校に通っております。一番下の娘が小学校6年生で、その子もスポーツが好きでいろいろなスポーツやっているんですけど、そのいろんな経験から意見を言わせていただきたいのですが、先日牧野スポーツクラブでかけっこ教室を運動会前にしたのですが、すぐに満員御礼になりまして、お父さんお母さんがほとんどの方送り迎えされていて、子どもに対する運動をさせたい気持ち、一つのことだけでなく、いろんなことをさせたいという思いを感じました。高齢者の方も運動に対してはしなければならぬという意識がすごく高まっていて、リハビリ型デイサービスでもご高齢の方がおっしゃるのが、送り迎えがあるからできるんだ、とおっしゃるんですね。私、樟葉小学校校区なんですけど、自治会が主催でソフトボールをしてくださっていますが、公園はボールが使えない、小学校のグラウンドでさえ、家の前にボールが飛んでくるからということで、今活動ができないような状況にあります。運動がしたくてもできないような環境の中でもありますし、地域の学校の運動場や体育館でやっているいろんなスポーツがあるんですけど、基本的に指導者というのは素人の方が非常に多いんですね。コーチングだとかコーチング理論だとかを全くご存じない方も、経験だけでやられるんで、お子さんを連れていくという部分も多く、うちの子もそうだったんですけど、コーチが怖くて、どうしても勝たせてあげたいが、自分が勝ちたいと感情移入していかれるんですね、素人の方というのは。そういう方がいるからこそ、そういうチームができるわけであって、非常に安い料金で実施されていますので、そういう部分でのインストラクターというか、勉強の場というか、講座を受けないと絶対指導者になれないよというのではないんですけど、そこぐらいしてもいいんじゃないかなと。非常にご高齢の方も大人も子どももスポーツに対して意識は以前よりも高まっていると思うんですね。保護者もすごく熱心です。長男の障害スポーツに関してなんですけど、子どもが中学の時にサッカー部に入りたいと言ったんですね。先生に相談したところ、やはり危険だと。

試合に行くのもお母さん連れて来てくださりとなった、保護者の負担が非常に大きいですね。じゃあ車いすサッカーのできるどころといたら長居競技場まで行かないといけない。そうなるとう障害者の方がするスポーツの幅がすごく狭まってくる。知的障害の方に関してはスイミングスクールでも受け入れをしているので、お母様との話の中で受け入れができる、できないというのもあるんですけど、知的の方に関してはそういうのが多いのかなと。ただ、肢体不自由児や盲、聾の方のスポーツができる場というのは非常に少ないですし、移動手段というのがほんとうにない。今支援学校からの放課後デイサービスですね、学校からデイサービスまで送迎をしてくださるんですね。保護者の負担がないという部分で非常に需要が大きいようです。そこでスポーツなどに取り組みたらいいのかなと親としては思います。中学の時に思ったのが肢体不自由児というのが、各学校にもものすごく少ないです。他のお子さん目が見えない方、車いすの方、耳の聞こえない方に対しての、一緒にスポーツをするという部分がすごく少ない。盲の方は盲の学校、聾の方は聾の学校、肢体不自由児の方は支援学校ということで、地域の学校と一緒に共に学ぶというのが非常に少ない。そういう部分も課題なのかなと思います。私が小学校、中学校の時に遠足というのは秋には必ず私市のハイキングに出かけていました。中学校の修学旅行も長野県の方に、今は川下りとか農業体験とか、どちらとていばお遊びという感じの修学旅行なんですけど、私の時は登山とか、登山というのはしんどいことを経験したけど、てっぺんに立った時にすごく爽快感を感じることができる。爽快感を得ることによって、非行に走る部分が非常に少ないというデータもあると聞いているので、登山をされる学校というのは、公立の学校では少ないのではないかなと思うので、そういうのも取り入れたらどうかと、なぜなくなったのかなと疑問ですね。クラブ活動のほうもすごく規制が多いのと、今年小学校の運動会の組み立て体操もすごく規制が多いんですね。長男から数えて私 16 回小学校の運動会観させていただいたんですけど、長男の時は高さ高さだったんですが、骨折しても毎年けが人が出るのが当たり前の時代だったのが、今は怪我をしてはいけないということで、組体操に対する取り組みというのも変わってきている。組み立て体操から学ぶことはすごく大きいですね。運動できない子もできる子もそこから学び取ることが多いので、組み立て体操に規制がある中で、それをどう子どもに伝えていくのか、痛い思いをする、でも達成感があったりとか、体を動かすことの、汗を流すことの、一生懸命走ることの学びっていうのをしっかり伝えていけるような、その変わるものができていけばいいなと母としては感じました。すいません、長くなりました。

(高見会長) おそらく進捗一覧という形でいろんな部局の取り組みが書かれているんですけど、今、教育委員会の中で議論を進めているんですけど、この内容というのは多岐にわたるので、いろんな部局の方の意見を聞いてという場ができてくると、我々が望んでいることがもしかしたら他の部局でやっていますよ、ということもあったりとか、他の部局だったらできますよとか、そういうこともあるんじゃないかなと思うので、一度何か機会をですね、教育委員会からいろんな部局に調整していただいていると思うんですけど、生の声をやりとりできるようなそんな場があったりするとういいかなという気もします。何か一度ご検討いただけたらいいなと思っています。最後になりましたけれども、木村先生、総括というか、まとめていただきたいと思います。

(木村委員) お疲れ様です。確かに最初の目標の設定のところでも西郵委員が言われたように、スポーツの定義を確認したほうがいいかなと。週一回であるとかとか、散歩とかウォーキングをされている方たくさんおられるんで、最終的には身体活動も含めてもいいんじゃないかなと思います。あまりスポーツにこだわるとちょっと幅が狭まるので、スポーツの定義をもう少し広めてもいいかなと思っています。その辺を会長が言われたように全市的な取り組みですよ、その辺をもうちょっとなんとかしていただければもっといい提案ができる気がしています。どうもありがとうございます。

(高見会長) 事務局お願いします。

(事務局) 先ほど皆様のご意見を受けまして、中間年度につきましては、計画を策定するときにアンケートを実施しております。アンケートを同じ内容でさせていただき予定にしております。その中には、観戦するスポーツ、今後やってみたいスポーツであったりとか、そういった内容も全て含まれていますので、ただスポーツの実施率はできるだけ上がるようには頑張っていくんですが、その中でも観戦するスポーツがもっと増えてきたよとか、そういった形で具体的な内容があがっていくような形になれば

いいかなと思っております。本当に数字的には苦しいかもしれませんが、できるだけ目標に近づくようなかたちでもって、皆様のご意見をいただきながらちょっとずつ進めていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

(高見会長) あまり時間がないんですけど、一つご報告なんですけど、8月10日にひらかた賑わい課さんとタイアップしまして、スポーツ婚活というのをやらせていただきました。もちろん枚方市内の方も参加されたり、近隣のところからも参加されたりしたんですけど、けっこういっぱい、スポーツを媒介にすぐ仲良くなって、3組のマッチングができたんですけども、終わった後もマッチングしなかった方も、スポーツって楽しいですね、という感想を持って帰られたので、スポーツってそういう切り口を変えていくと面白いっていうか、スポーツに参加していただくことが増えるのかなと感じながら、またやりたいなと思っております、一応ご報告です。事務局で他に何か連絡ございますか。

(事務局) 本日はありがとうございます。本日の会議録ですが、案を作成いたしまして、皆さんに郵送もしくはメールで送らせていただきます。そちらの案をご確認していただきまして、最終的に修正等させていただき、最終の会議録として作成していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

閉 会

(高見会長) それでは長時間にわたりましてありがとうございました。これをもちまして令和元年度第1回枚方市スポーツ推進審議会を閉会したいと思います。どうもありがとうございました。

(閉会 午後5時30分)